



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

＜生活のしづらさなどに関する調査＞ (全国在宅障害児・者等実態調査)

調査票

○この調査は、厚生労働省が、障害児・者向けの福祉施策を改善するための基礎資料を得るために実施する調査です。

○お答えいただいた内容については、秘密の保護に万全を期すとともに、統計を作る目的以外には使用しませんので、調査へのご協力をお願いします。

【調査の対象となる方】

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- 知的障害、発達障害(※)、高次脳機能障害、難病と診断されたことがある方
※自閉症、注意欠陥多動性障害、学習障害など
- 上記のいずれにも該当しないが、長引く病気やけが等により日常生活のしづらさが生じている方

次のような方は、手帳を持っていない方でも調査の対象となります。

- ・ 日常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、経管栄養、たんの吸引、導尿、酸素療法など）を必要としている。
- ・ 児童（18歳未満）の場合、発達状況などからみて特別支援教育や特別な配慮等を必要としている。
- ・ 眼鏡などを使っても、見えにくい。
- ・ 日常会話を聞き間違えたり、聞き取りにくいと感じたりすることがある。
- ・ 歩いたり階段を上ったりすることが難しい。
- ・ 思い出すことや集中することに困難を伴う。
- ・ お風呂に入ったり、衣服を着たりといった身の回りのことを一人するのが難しい。
- ・ 自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の話を聞いて理解したりするのが難しい。
- ・ 2リットルの水やソーダのボトルを腰から目の高さに持ち上げることが難しい。
- ・ 手と指を使って、ボタンや鉛筆のように小さなものをつまんだり、容器や瓶を開け閉めしたりするのが難しい。
- ・ 心配、緊張、不安を感じたり、気分が落ち込んだりすることがある。
- ・ その他、心身に不調があることで日常生活のしづらさが生じている。

ちょうさひょう きにゆう へんそう
調査票の記入・返送について

- この調査の対象となる方が世帯員におられる場合は、調査の対象となる方お一人につき1冊ずつ記入していただき、添付された返信用封筒（切手不要）にて令和8年12月10日までに最寄りの郵便ポストに投函してください。
- 本調査は、令和8年11月1日時点の状況に基づいて記入してください。
- この調査票は、調査の対象となる方ご自身で記入してください。（ご本人のご意見をお聞きしたいので、お時間をかけてもできるだけご自身でご記入ください。）
- ご自身で記入できない方につきましては、ご家族の方、又は介護をしている方、信頼できる友人の方などが記入を手伝ってください。
（ご家族の方や介護をしている方などが記入される場合は、ご本人の意見を聞いて記入してください。ご自身で意思表示が困難な場合は、ご家族の方や介護をしている方が本人の意向を汲み取って代わりに記入することができます。）
- 調査の記入にあたって、点字版の調査票や、手話通訳者等の派遣を希望される場合は、調査員又は下記の調査担当窓口にご相談ください。
- この調査に関して、お尋ねになりたいことがある方は、下記の調査担当窓口までご連絡ください。

ちょうさたんとうまどぐち
【調査担当窓口】

きほんてき じこう かん しつもん
【基本的な事項に関する質問です。】

とい ほんちょうさ きにゅう かた
問1 本調査を記入した方について、あてはまるもの1つに○をつけてください。まる

- 1 ほんにん ちょうさ たいしょう かた じしん きにゅう
ご本人（調査の対象となる方）が、ご自身で記入
- 2 ほんにん いがい ほんにん いし だいひつ
ご本人以外が、ご本人の意思を「代筆」
- 3 ほんにん いがい ほんにん いこう く と きにゅう
ご本人以外が、ご本人の意向を汲み取って記入

ちゅうい また かいどう ばあい とい いこう ほんちょうさひょう きにゅう
注意：「2」又は「3」と回答された場合は、問2以降は、本調査票に記入され
た方の状況ではなく、ご本人（調査の対象となる方）の状況についてお答
えください。かた じょうきょう ほんにん ちょうさ たいしょう かた じょうきょう こた

とい ほんにん ちょうさ たいしょう かた ねんれい こた
問2 ご本人（調査の対象となる方）の年齢をお答えください。

さい れいわ ねん ねん がつ にち じてん ねんれい
歳（令和8年（2026年）11月1日時点の年齢）

とい ほんにん ちょうさ たいしょう かた せいべつ こた
問3 ご本人（調査の対象となる方）の性別をお答えください。

- 1 だんせい
男性
- 2 じょせい
女性

しょうがいしゃ てちょう かん しゅもん
【障害者の手帳に関する質問です。】

とい しょうがいしゃ かん てちょう ばあい りゆう なに
問4 障害者に関する手帳をもっていますか。もっていない場合、その理由は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 てちょう
手帳をもっている
- 2 てちょう
手帳をもっていない ⇒ ほもん こた
補問（1）もお答えください

しょうがいしゃてちょう こた かた
【障害者手帳をもっていないと答えた方】

ほもん りゆう まる
補問（1） 理由としてあてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア しょうがい しゅるい てちょう きじゅん
障害の種類が手帳の基準にあてはまらないため。
- イ てちょう せいど しゅとく てつづ
手帳の制度や取得の手続きがわからないため。
- ウ とく てちょう こま
特に手帳がなくても困らないため。
- エ てちょう も
手帳を持ちたくないため。
- オ しんせい てつづ ちゅう
申請の手続き中のため。
- カ その他（ ）

問5 ^{とい}身体障害者手帳^{しんたいしょうがいしやてちょう}をもっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 もっている ⇒ ^{ほもん}補問 (1) と ^{こた}(2) もお答えください
- 2 もっていない

【身体障害者手帳をもっていると答えた方】

^{ほもん}補問(1) ^{しょうがい}障害の原因について、^{もつと}最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア ^{びょうき}病気
- イ ^{じこ}事故・けが
- ウ ^{さいがい}災害
- エ ^う生まれた時から ^{とき}(^{しゅつしょうじ}出生時の^{そんしょう}損傷^{ふく}を含む)
- オ ^{かれい}加齢
- カ その他 ()
- キ わからない

【身体障害者手帳をもっていると答えた方】

^{ほもん}補問(2) ^{しんたいしょうがい}身体障害の^{しゅるい}種類と^{とうきゅう}等級はどのように^{にんてい}認定されていますか。
^{しんたいしょうがいしやてちょう}身体障害者手帳に^{きさい}記載されている^{そうごうはんてい}総合判定の^{とうきゅう}等級と、^{しょうがい}障害の^{しゅるい}種類ごとに
^{がいとう}該当する^{とうきゅう}等級について、あてはまるものに○をつけてください。また、あ
てはまる^{しょうがい}障害の^{しゅるい}種類ごとに、はじめて^{てちょう}手帳が^{こうふ}交付された^{ねんれい}年齢について、ア
～エのうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※1 ^{てちょう}手帳に「^{おんせい}音声・^{げんご}言語・^{きのうしょうがい}そしゃく機能障害」と^{きさい}記載されている場合は、あ
なたの^{しょうがい}障害が、^{おんせい}音声・^{げんご}言語^{おんせい}機能の^{しょうがい}障害であるか、又は^{また}そしゃく^{きのう}機能の
^{しょうがい}障害であるかに応じて、どちらか1つを選択して○をつけてください。
^{おんせい}音声・^{げんご}言語^{おんせい}機能と^{おんせい}そしゃく^き機能の^{りょうほう}両方に^{しょうがい}障害がある場合は、それぞれに○
をつけてください。

※2 ^{てちょう}手帳に「^{ちよくちようきのうしょうがい}ぼうこう・直腸機能障害」と^{きさい}記載されている場合は、あなた
の^{しょうがい}障害が、^{きのう}ぼうこう^{しょうがい}機能の^{しょうがい}障害であるか、又は^{また}直腸^{ちよくちようきのう}機能の^{しょうがい}障害であるか
に
応じて、どちらか1つを選択して○をつけてください。^{おんせい}ぼうこう^き機能と
^{ちよくちようきのう}直腸^{りょうほう}機能の^{しょうがい}両方に^{しょうがい}障害がある場合は、それぞれに○をつけてください。

次ページに記入してください

障害の種別 しょうがい しゅべつ	等 級 とう きゅう	はじめて交付された年齢 はじめて こうふ ねんれい	
総合判定 そうごうはんてい (身体障害者手帳に記載された等級) しんたいしょうがいやてちよう きさい とうきゅう	1 2 3 4 5 6 .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
視覚障害 しかくしょうがい	1 2 3 4 5 6 .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
聴覚障害 ちようかくしょうがい	. 2 3 4 . 6 .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
平衡機能障害 へいこうきのうしょうがい	. . 3 . 5 . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
音声・言語障害(※1) おんせい げんごしょうがい	. . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
そしゃく機能障害(※1) きのうしょうがい	. . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肢体不自由 (上肢) したいふじゆう じようし	1 2 3 4 5 6 7	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肢体不自由 (下肢) したいふじゆう かし	1 2 3 4 5 6 7	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肢体不自由 (体幹) したいふじゆう たいかん	1 2 3 . 5 . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肢体不自由 したいふじゆう (脳原性運動機能障害のうち上肢機能障害) のうげんせいうんどうきのうしょうがい じようしきのうしょうがい	1 2 3 4 5 6 7	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肢体不自由 したいふじゆう (脳原性運動機能障害のうち移動機能障害) のうげんせいうんどうきのうしょうがい いどうきのうしょうがい	1 2 3 4 5 6 7	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
心臓機能障害 しんぞうきのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
呼吸器機能障害 こきゅうききのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
じん臓機能障害 ぞうきのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
ぼうこう機能障害(※2) きのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
直腸機能障害(※2) ちよくちようきのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
小腸機能障害 しょうちようきのうしょうがい	1 . 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 めんえきふぜん めんえききのうしょうがい	1 2 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう
肝臓機能障害 かんぞうきのうしょうがい	1 2 3 4 . . .	ア 18歳未満 さいいみまん イ 18歳～39歳 さいい さいい	ウ 40歳～64歳 さいい さいい エ 65歳以上 さいいじよう

問6 ^{りょういくてちょう}療育手帳をもっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
^{りょういくてちょう}※療育手帳とは、^{ちてきしょうがい}知的障害のある方に^{かた}交付される^{こうふ}手帳です。^{てちょう}（愛の手帳、^{あいごてちょう}愛護手帳、^{てちょうなど}みどりの手帳等）

- 1 もっている ⇒ 補問（1）もお答えください
 2 もっていない

【^{りょういくてちょう}療育手帳をもっていると答えた方】

補問（1）^{しょうがい}療育手帳に記載されている^{ていど}障害の程度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。また、^{てちょう}はじめて手帳が交付された^{ねんれい}年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

^{しょうがい} 障害の程度（等級）	^{こうふ} はじめて交付された ^{ねんれい} 年齢	
1 ^{じゅうど} 重度（A、A1、A2、1度、2度など）	ア ^{さいみまん} 6歳未満	エ ^{さい} 18歳～ ^{さい} 39歳
2 ^た その他（B、B1、B2、B3、3度、 4度など）	イ ^{さい} 6歳～ ^{さい} 11歳	オ ^{さい} 40歳～ ^{さい} 64歳
	ウ ^{さい} 12歳～ ^{さい} 17歳	カ ^{さいいじょう} 65歳以上

問7 ^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう}精神障害者保健福祉手帳をもっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 もっている ⇒ 補問（1）もお答えください
 2 もっていない

【^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう}精神障害者保健福祉手帳をもっていると答えた方】

補問（1）^{せいしんしょうがい}精神障害の種類と^{とうきゅう}等級はどのように判定されていますか。
^{せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう}精神障害者保健福祉手帳に記載されている^{しょうがい}障害の種類と^{とうきゅう}等級について、あてはまるもの1つに○をつけてください。また、その^{しょうがい}障害の種類ごとに、^{てちょう}はじめて手帳が交付された^{ねんれい}年齢について、ア～エのうちあてはまるもの1つに○をつけてください。

次ページに記入してください

しょうがい しゅるい 障 害 の 種 類	とう きゅう 等 級	はじめて交付された年齢 こうふ ねんれい	
とうごうしつちょうしょう 統合失調症	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
うつ病 びょう	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
そうきょくせいかんじょうしょうがい そう びょう 双極性感情障害（躁うつ病）	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
てんかん	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
はったつしょうがい じへいしょう 発達障害（自閉症、アスペルガー しょうこうぐん ちゅういけつかんたどうせいしょうがいなど 症候群、注意欠陥多動性障害等）	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
パニック障害・不安障害 しょうがい ふあんしょうがい	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
きょうはくせいしょうがい 強迫性障害	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
いぞんしょう 依存症（アルコール、ギャンブル、 やくぶつなど 薬物等）	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
せつしょくしょうがい 摂食障害	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
パーソナリティ障害 しょうがい	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
P T S D（心的外傷後ストレス障害） しんてきがいしょうご しょうがい	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
にんちしょう 認知症	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
せいどういつせいしょうがい 性同一性障害	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
ひきしつせいすいみんしょうがい 非器質性睡眠障害	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
その他 た	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上
わからない	1 ・ 2 ・ 3	ア 18歳未満 イ 18歳～39歳	ウ 40歳～64歳 エ 65歳以上

しょうがい しんだんなど かん しつもん
【障害の診断等に関する質問です。】

とい ちてきしょうがい ほんてい しんだん
問8 これまで知的障害として判定・診断されたことはありますか。あてはまるもの
まる
1つに○をつけてください。

ちてきしょうがい こうれい びょうき ろうか ちてき きのう
※ここでいう知的障害には、高齢になってからの病気や老化による知的な機能の
げんたい ふく
減退は含まれません。

- 1 はい
- 2 いいえ

とい はったつしょうがい しんだん
問9 これまで発達障害として診断されたことはありますか。あてはまるもの1つに
まる
○をつけてください。

はったつしょうがい じへいしょう しょうこうぐん た こうはんせい
※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害
じへい しょう がくしゅうしょうがい げんきよくせい
(自閉スペクトラム症：ASD)、学習障害(LD) (限局性学習症：
ちゅういけつかんたどうせいしょうがい ちゅういけつじょうたどうしょう
SLD)、注意欠陥多動性障害(注意欠如多動症：ADHD)などをいいます。

- 1 はい
- 2 いいえ

とい こうじのうきのうしょうがい しんだん
問10 これまで高次脳機能障害として診断されたことはありますか。あてはまるもの1つに
まる
○をつけてください。

こうじのうきのうしょうがい どうぶがいしょう のうそっちゅう おも いしきしょうがい おちい
※高次脳機能障害とは、頭部外傷や脳卒中などによって、重い意識障害に陥
じょうたい ちりょう あと いしき もど ほこう しょくじ
るような状態となり、治療の後、意識が戻り、歩行や食事ができるようにな
がいけんじょう かいふく おも ことば で
り、外見上は回復したように思えるのに、「いいたい言葉が出てこない」、
かいわ あ だん ど ものごと おこな
「会話がうまくかみ合わない」、「段取りをつけて物事を行うことができな
しょうじょう あらわ しゅうい ひと ひと か なま もの
い」などの症状が現れ、周囲の人に「人が変わった」、「怠け者になっ
いんしょう あた じょうたい
た」といった印象を与えるような状態のことです。

- 1 はい
- 2 いいえ

問 1 1 これまで難病と診断されたことはありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

※ この設問における「難病」とは、発病の機構が明らかでなく、かつ、治療法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなる疾病を指します。

※ この設問における「指定難病」とは、難病のうち、難病法に基づき、医療費助成の対象となる疾病として定められた 348 疾病を指します。

- 1 難病と診断されたことはない
- 2 指定難病と診断されたことがあり、指定難病の医療費受給者証をもっている
⇒補問（1）もお答えください
- 3 指定難病と診断されたことはあるが、指定難病の医療費受給者証をもっていない（症状の程度が該当しない場合等）⇒補問（2）もお答えください
- 4 以下の＜別表＞にあるいずれかの疾病と診断されたことがある ⇒補問（3）もお答えください
- 5 その他の難病と診断されたことがある ⇒補問（2）もお答えください

＜別表＞

め目	円錐角膜 急性網膜壊死	加齢黄斑変性 ペルーシド角膜辺縁変性症	サイトメガロウイルス角膜炎皮炎
みみ耳	突発性難聴 両側性小耳症・外耳道閉鎖症	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴 特発性両側性感音難聴	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
てあし手足・皮膚	関節リウマチ 原発性局所多汗症	多発性軟骨性外骨腫症 膿疱性乾癬	薬剤性過敏症症候群
しょうかき消化器	短腸症候群	顕微鏡的大腸炎	慢性痔炎
こきゅうき呼吸器	びまん性汎細気管支炎	肥満低換気症候群	若年性肺気腫
けつえき血液	アミロイドーシス 骨髄線維症 抗リン脂質抗体症候群	骨髄異形成症候群 ヘパリン起因性血小板減少症 原発性高脂血症	ランゲルハンス細胞組織球症 ヘモクロマトーシス
しんけい神経	急性壊死性脳症	汎発性特発性骨増殖症	スモン
ホルモン	ADH 分泌異常症 ゴナドトロピン分泌亢進症	PRL 分泌亢進症（高プロラクチン血症） 成長ホルモン分泌亢進症	TSH 分泌亢進症
せんてんせいしかん先天性疾患	ダウン症候群 フォンタン術後症候群	先天性風疹症候群	四肢形成不全

【2 指定難病と診断されたことがあり、指定難病の医療費受給者証をもっていると答えた方】

補問（１）医療費受給者証に記載されている病名をお答えください。

【3又は5 医療費受給者証はもっていないが、指定難病又は難病と診断されたことがあると答えた方】

補問（２）病名をお答えください。

【4 以下の＜別表＞にあるいずれかの疾病と診断されたことがあると答えた方】

補問（３）病名について、以下のア～ルのうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

＜別表＞

め 目	ア 円錐角膜	けつえき 血液	ニ アミロイドーシス
	イ 加齢黄斑変性		ヌ 骨髄異形成症候群
	ウ サイトメガロウイルス角膜内皮炎		ネ ランゲルハンス細胞組織球症
	エ 急性網膜壊死		ノ 骨髄線維症
	オ ペルーシド角膜辺縁変性症		ハ ヘパリン起因性血小板減少症
み み 耳	カ 突発性難聴	しんけい 神経	ヒ ヘモクロマトーシス
	キ 劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴		フ 抗リン脂質抗体症候群
	ク 優性遺伝形式をとる遺伝性難聴		ヘ 原発性高脂血症
	ケ 両側性小耳症・外耳道閉鎖症		ホ 急性壊死性脳症
	コ 特発性両側性感音難聴		マ 汎発性特発性骨増殖症
てあし 手足・皮膚	サ 関節リウマチ	ホルモン	ミ スモン
	シ 多発性軟骨性外骨腫症		ム ADH分泌異常症
	ス 薬剤性過敏症症候群		メ PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）
	セ 原発性局所多汗症		モ TSH分泌亢進症
	ソ 膿疱性乾癬		ヤ ギナドトロピン分泌亢進症
しょうかき 消化器	タ 短腸症候群	せんてんせいしかん 先天性疾患	ユ 成長ホルモン分泌亢進症
	チ 顕微鏡的大腸炎		ヨ ダウン症候群
	ツ 慢性膵炎		ラ 先天性風疹症候群
こきゅうき 呼吸器	テ びまん性汎細気管支炎		リ 四肢形成不全
	ト 肥満低換気症候群		ル フォンタン術後症候群
	ジャクねんせいはいきしゅ		
	ナ 若年性肺気腫		

【心身の状態に関する質問です。】

問 1 2 医療的ケアについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※この設問にいう医療的ケアとは、在宅で生活するにあたって日常的に必要な、医療機器の管理や、医療的な処置を指します。

※医療的ケアには、家族が行うもの、公的な支援により行われるものの両方を含みます。

- 1 医療的ケアを受けている ⇒ 補問（1）もお答えください
- 2 医療的ケアを受けていない

【1 医療的ケアを受けていると答えた方】

補問（1）どのような医療的ケアを受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ア 呼吸のケア（人工呼吸器の管理、気管切開の管理、気道確保用チューブ（鼻咽頭エアウェイ）の管理、酸素療法、たんの吸引（口鼻腔・気管内吸引）、薬の吸入器（ネブライザー）の管理）
- イ 摂食・嚥下のケア（経管栄養（胃ろう等の管理）、中心静脈栄養）
- ウ 排泄のケア（導尿、排便管理（摘便、洗腸、浣腸、消化管ストーマなど））
- エ 継続的な透析（血液透析、腹膜透析）
- オ 薬剤の持続投与等の特別な医療（中心静脈カテーテルの管理、皮下注射（インスリン持続注射等）、血糖測定、けいれん時の座薬挿入等の処置）
- カ モニター測定（血圧、心拍、血液中の酸素量（パルスオキシメーターによる酸素飽和度）等）
- キ じょくそうの処置
- ク その他（ ）

問 1 3 心身の状態に関する①～⑩の設問それぞれについて、最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

① 眼鏡をしても見えにくいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
② 補聴器を使用しても聴き取りにくいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
③ 歩いたり階段を上るのが難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
④ 思い出したり集中したりするのが難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
⑤ 身体を洗ったり衣服を着るような身の回りのことが難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
⑥ 通常の言語をつかったのコミュニケーション（たとえば、人の話を理解したり、人に話を理解させることなど）が難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
⑦ 2リットルの水かソーダのボトルを腰から目の高さに持ち上げることが難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。
⑧ 手と指を使って、ボタンや鉛筆のように小さなものをつまんだり容器や瓶を開け閉めするのが難しいといった苦勞はありますか。	1 苦勞はありません。 2 多少苦勞します。 3 とても苦勞します。 4 全くできません。

⑨ 心配、緊張、不安等をどのくらいの頻度で感じますか。	1 毎日 2 週に1回程度 3 月に1回程度 4 年に2、3回程度 5 全くない 補問もお答えください
【1～4と答えた方のみお答えください】 補問 最近感じた心配、緊張、不安等の程度はどのくらいでしたか。	ア ひどく イ かなり ウ すこし エ わからない
⑩ 気分が落ち込むことがどのくらいの頻繁にありますか。	1 毎日 2 週に1回程度 3 月に1回程度 4 年に2、3回程度 5 全くない 補問もお答えください
【1～4と答えた方のみお答えください】 補問 最近気分が落ち込んだ時の程度はどのくらいでしたか。	ア ひどく イ かなり ウ すこし エ わからない

問 1 4 補聴器や人工内耳を使用しない状態での日常会話の聞きとりの状況について、最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 会話の聞き取りに困難は感じない
- 2 小さな声や騒音の中での会話で、聞き間違いや聞き取りの困難を感じることもある
- 3 普通のおおきさの声の会話で、聞き間違いや聞き取りの困難を感じることもある
- 4 非常に大きな声でないと会話が聞こえず、聞こえても聞き取りには限界がある
- 5 耳元で非常に大きな声で話しかけられてもほとんど聞き取れない

【日常生活のしづらさに^{かん}関する^{しつもん}質問です。】

問 15 最近の日常生活を送る上での生活のしづらさはどのようなものですか。①
～⑬の設問のそれぞれについて、最もよくあてはまるもの 1 つに○をつけてく
ださい。

① 食事をする	1 一人でできる 2 時間をかければ一人でできる 3 見守りや声掛けがあればできる 4 手伝ってもらえばできる（一部介助が必要） 5 自分ではできない（全部介助が必要）
② 食事の支度や後片付けをする	1 一人でできる 2 時間をかければ一人でできる 3 見守りや声掛けがあればできる 4 手伝ってもらえばできる（一部介助が必要） 5 自分ではできない（全部介助が必要） 6 経験がない・機会がない
③ 衣服を着たり脱いだりする	1 一人でできる 2 時間をかければ一人でできる 3 見守りや声掛けがあればできる 4 手伝ってもらえばできる（一部介助が必要） 5 自分ではできない（全部介助が必要）
④ 排せつをする（トイレを つか 使えるなど）	1 一人でできる 2 時間をかければ一人でできる 3 見守りや声掛けがあればできる 4 手伝ってもらえばできる（一部介助が必要） 5 自分ではできない（全部介助が必要）
⑤ 入浴をする	1 一人でできる 2 時間をかければ一人でできる 3 見守りや声掛けがあればできる 4 手伝ってもらえばできる（一部介助が必要） 5 自分ではできない（全部介助が必要）

⑥ いえ なか いどう 家の中を移動する	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要)
⑦ み まわ そうじ 身の回りの掃除、 せいりせいとん 整理整頓をする	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要) 6 けいけん 経験がない・き かい 機会がない
⑧ せんたく 洗濯をする	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要) 6 けいけん 経験がない・き かい 機会がない
⑨ か もの 買い物をする	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要) 6 けいけん 経験がない・き かい 機会がない
⑩ かね かんり お金の管理をする	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要) 6 けいけん 経験がない・き かい 機会がない
⑪ くすり かんり 薬の管理をする	1 ひとり 一人でできる 2 じかん 時間をかければ一人ひとりでできる 3 みまも こえか 見守りや声掛けがあればできる 4 てつだ 手伝ってもらえばできる (いちぶ かいじょ ひつよう 一部介助が必要) 5 じぶん 自分ではできない (ぜんぶ かいじょ ひつよう 全部介助が必要) 6 けいけん 経験がない・き かい 機会がない

⑫ ①自分の意思を伝える	1 ①誰にでも伝えることができる 2 ②家族や友人など特定の人には伝えることができる（特定の事柄についてのみ伝えることができる場合も含みます。） 3 ③介助、手話通訳や機器の使用等があれば伝えることができる 4 ④伝えることができない
⑬ ①相手の意思を理解する	1 ①誰の意思でも理解することができる 2 ②家族や友人など特定の人②の意思は理解することができる（特定の事柄についてのみ理解することができる場合も含みます。） 3 ③介助、手話通訳や機器の使用等があれば相手③の意思を理解することができる 4 ④理解することができない

しゃかいせいかつ じょうきょう きぼう かん じつもん
【社会生活の状況と希望に関する質問です。】

とい か こ ねんかん がいしゅつ ひん ど ていど もっと
問 1 6 過去 1 年間の外出の頻度はどの程度ですか。最もよくあてはまるもの 1 つ
まる
に○をつけてください。

- 1 1 日に 1 回程度
- 2 2 ～ 3 日に 1 回程度
- 3 1 週間に 1 回程度
- 4 2 週間に 1 回程度
- 5 1 ケ月に 1 回程度
- 6 2 ～ 3 ケ月に 1 回程度
- 7 半年に 1 回程度
- 8 ほとんど外出しない

とい にっちゅう す おお もっと
問 1 7 日中はどのように過ごしていることが多いですか。最もよくあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

※あなた（調査の対象となる方）の平均的な 1 週間の過ごし方の中で、最も多くの時間を当てているものを選択してください。

※例えば、週 4 回学校へ行き、週 1 回は学校を休み通院している場合は、
「2 教育・保育を受けている」に○をつけてください。

- 1 仕事をしている ⇒補問（1）、（2）、（3）もお答えください。
- 2 教育・保育・療育を受けている（幼稚園・保育園・小中学校・高校・大学・大学院・専門学校・塾等を含む） ⇒補問（4）もお答えください。
- 3 仕事や教育・保育・療育以外の活動をしている ⇒補問（5）もお答えください。

じ ほん こた
次ページの補問もお答えください

【1 仕事をしていると答えた方】

補問（1）仕事の詳細について、主なもの1つに○をつけてください。

- ア 一般雇用／正職員
イ 一般雇用／正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、日雇い等）
ウ 障害者雇用（障害者向け求人に応募した方）／正職員
エ 障害者雇用（障害者向け求人に応募した方）／正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、日雇い等）
オ 自営業（家の仕事の手伝いを含む）
カ 就労継続支援A型
キ 就労継続支援B型

【1 仕事をしていると答えた方】

補問（2）現在している仕事を始めたのはいつですか。

西暦 年 月

【1 仕事をしていると答えた方】

補問（3）現在の1週間あたりの勤務時間について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 10時間未満
イ 10時間以上20時間未満
ウ 20時間以上30時間未満
エ 30時間以上

【2 教育・保育・療育を受けていると答えた方】

補問（4）教育・保育・療育の詳細について、あてはまるもの1つに○をつ
けてください。

- ア 障害児通所支援サービス、障害児入所施設を利用している
- イ 特別支援学校（乳幼児教育相談、幼稚部、小学部、中学部、高等部）に通学している
- ウ 特別支援学級（小中学校において障害の種別ごとに編成された学級）に通学している
- エ その他の特別支援教育を受けている（通級による指導等）
- オ 小中学校の普通学級等（特別な支援は受けていない）に通学している
- カ 高等学校の普通学級等に通学している
- キ 専門学校・大学・大学院に通学している
- ク その他（上記ア～キのいずれにも該当しない場合）

【3 仕事や教育・保育・療育以外の活動をしていると答えた方】

補問（5）過ごし方の詳細について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 主に障害者向け施設の通所サービス（地域活動支援センター等）を利用して外で過ごしている
- イ 主に病院・介護施設の通所サービス（リハビリ、デイケア、デイサービス等）を利用して外で過ごしている
- ウ その他の活動（ボランティア活動、農作業、カラオケ、ゲートボール、その他の趣味活動等）をして外で過ごしている
- エ 主に家で過ごしている（家事、育児、介護等をしている場合を含む）
- オ 仕事に向けて、就労選択支援や就労移行支援を利用したり、職業訓練や求職活動をしている

問 1 8 ^{とい}今後、^{こんご}日中 ^{にっちゅう}はどのように^す過ごしたいですか。あてはまるもの 1 つに○をつけ
てください。

- 1 ^{いま}今までと同じように^{おな}過ごしたい
- 2 ^{しごと}仕事をしたい ⇒^{ほもん}補問 (1)、(2) もお^{こた}答えください。
- 3 ^{きょういく}教育・^{ほいく}保育・^{りょういく}療育を受けたい (幼稚園・^う保育園・^{ようちえん}小中学校・^{ほいくえん}高校・^{しょうちゅうがっこう}大学・^{ことう}大学院・^{だいがく}専門学校・^{せんもんがっこう}塾等を含む) ⇒^{ほもん}補問 (3) もお^{こた}答えください。
- 4 ^{しごと}仕事や^{きょういく}教育・^{ほいく}保育・^{りょういく}療育以外の^{りょういく}活動^{いがい}をしたい ⇒^{ほもん}補問 (4) もお^{こた}答えください。

【2 ^{しごと}仕事をしたいと^{こた}答えた方^{かた}】

^{ほもん}補問 (1) 希望する^{きぼう}仕事の^{しごと}詳細^{しょうさい}について、あてはまるもの 1 つに○をつけ
てください。

- ア ^{いっばんこよう}一般雇用／^{せいしよくいん}正職員
- イ ^{いっばんこよう}一般雇用／^{せいしよくいん}正職員以外 (アルバイト、パート、^{けいやくしよくいん}契約職員、^{ひやと}日雇い^{など}等)
- ウ ^{しょうがいしゃこよう}障害者雇用 (障害者向け^{しょうがいしゃ}求人^むに^{きゅうじん}応募^{おうぼ}した方)／^{かた}正職員
- エ ^{しょうがいしゃこよう}障害者雇用 (障害者向け^{しょうがいしゃ}求人^むに^{きゅうじん}応募^{おうぼ}した方)／^{かた}正職員以外 (アルバイト、パート、^{けいやくしよくいん}契約職員、^{ひやと}日雇い^{など}等)
- オ ^{じえいぎよう}自営業 (家の^{いえ}仕事^{しごと}の手伝い^{てつだ}を含む^{ふく})
- カ ^{しゅうろうけいぞくしえん}就労継続支援 A 型^{がた}
- キ ^{しゅうろうけいぞくしえん}就労継続支援 B 型^{がた}

【2 ^{しごと}仕事をしたいと^{こた}答えた方^{かた}】

^{ほもん}補問 (2) 希望する 1 週間^{きぼう}あたりの^{しゅうかん}勤務時間^{きんむじかん}について、あてはまるもの 1 つに
^{まる}○をつけてください

- ア 10 ^{じかん}時間未^{まん}満
- イ 10 ^{じかん}時間以上 20 ^{じかん}時間未^{まん}満
- ウ 20 ^{じかん}時間以上 30 ^{じかん}時間未^{まん}満
- エ 30 ^{じかん}時間以上

【3 教育・保育・療育を受けたいと答えた方】

補問（3）希望する教育・保育・療育の詳細について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 障害児通所支援サービス、障害児入所施設を利用したい
- イ 特別支援学校（乳幼児教育相談、幼稚部、小学部、中学部、高等部）に通学したい
- ウ 特別支援学級（小中学校において障害の種別ごとに編成された学級）に通学したい
- エ その他の特別支援教育を受けたい（通級による指導等）
- オ 特別な支援は受けずに教育等を受けたい

【4 仕事や教育・保育・療育以外の活動をしたいと答えた方】

補問（4）希望する過ごし方の詳細について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 主に障害者向け施設の通所サービス（地域活動支援センター等）を利用して外で過ごしたい
- イ 主に病院・介護施設の通所サービス（リハビリ、デイケア、デイサービス等）を利用して外で過ごしたい
- ウ その他の活動（ボランティア活動、農作業、カラオケ、ゲートボール、その他の趣味活動等）をして外で過ごしたい
- エ 主に家で過ごしたい（家事、育児、介護等を含む）
- オ 仕事に向けて、就労選択支援や就労移行支援を利用したり、職業訓練や求職活動をしたい

【生活基盤の状況と希望に関する質問です。】

問19 あなた（調査の対象となる方）のお住まいの種類について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※「福祉サービス付き住宅」とは、福祉ホームの他、介護保険による認知症対応型グループホームや自治体独自の事業によるものを含みます。

- 1 一戸建て／持ち家
- 2 一戸建て／賃貸・給与住宅（社員寮等）
- 3 一戸建て／公営住宅
- 4 共同住宅（マンション、アパート等）／持ち家
- 5 共同住宅（マンション、アパート等）／賃貸・給与住宅（社員寮等）
- 6 共同住宅（マンション、アパート等）／公営住宅
- 7 貸間（部屋を借りての下宿）
- 8 障害者のグループホーム
- 9 福祉サービス付き住宅（障害者のグループホームを除く）
- 10 その他（ ）

問20 あなた（調査の対象となる方）とふだん住居と生計を共にしている方（同一世帯の方）はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ふだん住居と生計を共にしている方（同一世帯の方）には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含みます。
- ・また、病院・診療所に入院している人も含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

- 1 いない（単独世帯）
- 2 いる ⇒補問（1）もお答えください



次ページの補問もお答えください

補問（１）同一世帯に含まれる方について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ア 親
イ 配偶者
ウ 兄弟姉妹
エ 子・孫
オ その他の家族・親戚
カ パートナー（友人や恋人）

問２ 1 今後、どのように暮らしたいと考えていますか。あてはまるもの１つに○をしてください。

- 1 今までと同じように暮らしたい
2 今までとは違う暮らしを希望する ⇒補問（１）もお答えください

補問（１）希望する暮らしについて、あてはまるもの１つに○をつけてください。

- ア 一人暮らしをしたい
イ 今是一緒に住んでいない家族と一緒に暮らしたい
ウ 結婚等により新しい家族と一緒に暮らしたい
エ グループホーム等で暮らしたい
オ 施設で暮らしたい
カ その他（ ）

※「グループホーム等」とは、障害者総合支援法に基づくグループホームや福祉ホームの他、介護保険による認知症対応型グループホームや自治体独自の事業によるものを含みます。

＜あなたの収入に関する質問です。＞

※問22は、調査の対象となる方が18歳以上の方のみご回答ください。

問22 あなた（調査の対象となる方）の一月当たりの平均的な収入はいくらですか。

※住民税や所得税、社会保険料を差し引かれている場合は、差し引かれる前の金額をご回答ください。

※収入がない場合は、「0（ゼロ）」とご回答ください。

ひとつきあ 一月当たりの収入	やく 約	まんえん 万円
-------------------	---------	------------

⇒収入がある方は、補問（1）もご回答ください

【18歳以上で収入がある方】

補問（1）あなた（調査の対象となる方）の一月当たりの収入の内訳はどのようなになっていますか。

※「②社会保障給付金による収入」にはあてはまるものすべてに〇をつけてください。

※収入がない項目は、「0（ゼロ）」とご回答ください。

① はたら 働いて得た収入	やく 約	まんえん 万円
② 社会保障給付金による収入 ア 公的年金（国民年金、障害年金など） イ 児童手当、児童扶養手当 ウ 特別児童扶養手当、障害児福祉手当、 とくべつしょうがいしやてあて 特別障害者手当 エ 生活保護による扶助、 せいかつほご ふじょ オ 雇用保険（失業等給付金など） こようほけん しつぎょうとうきゅうふきん カ その他の公的な給付金（恩給、医療保険に た こうてき きゅうふきん おんきゅう いりょうほけん よる傷病手当金など） しょうびょうてあてきん	ごうけい 合計 やく 約	まんえん 万円
③ しおく 仕送りによる収入	やく 約	まんえん 万円
④ その他の収入 （個人が加入する年金、不動産所得、株式 こじん かにゅう ねんきん ふどうさんしょとく かぶしき の配当など） はいとう	やく 約	まんえん 万円

＜あなたを含むご家族の収入に関する質問です。＞

※問23は、調査の対象となる方が18歳未満の方のみご回答ください。

問23 あなた（調査の対象となる方）を含む生計を同一とするご家族の一月当たりの平均的な収入はいくらですか。

※住民税や所得税、社会保険料を差し引かれている場合は、差し引かれる前の金額をご回答ください。

※収入がない場合は、「0（ゼロ）」とご回答ください。

ひとつきあ 一月当たりの収入	やく 約	まんえん 万円
-------------------	---------	------------

⇒収入がある方は、補問（1）もご回答ください

【18歳未満であなたを含むご家族に収入がある方】

補問（1）あなた（調査の対象となる方）を含む生計を同一とするご家族の一月当たりの収入の内訳はどのようなになっていますか。

※「②社会保障給付金による収入」にはあてはまるものすべてに○をつけてください。

※収入がない項目は、「0（ゼロ）」とご回答ください。

	あなた	あなたの ご両親	その他の ご家族
① 働いて得た収入	やく 約	やく 約	やく 約
② 社会保障給付金による収入			
ア 公的年金（国民年金、障害年金など）			
イ 児童手当、児童扶養手当			
ウ 特別児童扶養手当、障害児福祉手当、 特別障害者手当	ごうけい 合計	ごうけい 合計	ごうけい 合計
エ 生活保護による扶助、 雇用保険（失業等給付金など）	やく 約	やく 約	やく 約
カ その他の公的な給付金（恩給、 医療保険による傷病手当金など）	まんえん 万円	まんえん 万円	まんえん 万円
③ 仕送りによる収入	やく 約	やく 約	やく 約
④ その他の収入 （個人が加入する年金、不動産所得、 株式の配当など）	やく 約	やく 約	やく 約

問 2 4 ^{せい} ^{かつ} ^ほ ^ご ^{じゅ} ^{きゅう} ^{じょう} ^{きょう} ^お ^よ ^{じゅう} ^{みん} ^{ぜい} ^{しょ} ^{とく} ^{ぜい} ^か ^{ぜい} ^{じょう} ^{きょう}

生活保護の受給状況、及び住民税、所得税の課税状況について、①～③

のそれぞれの設問について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※世帯主とは、^せ ^{たい} ^{ぬし} ^{ねん} ^{れい} ^{しょ} ^{とく} ^せ ^{たい} ^{ちゅう} ^{しん} ^{もの} ^{ごと}

年齢や所得にかかわらず、世帯の中心となって物事をとりはか

る者として世帯側から報告された者をいいます。

【^{ちやう} ^さ ^{たい} ^{しやう} ^{かた} ^{さい} ^い ^{じやう} ^{ばあ} ^い

あなた（調査の対象となる方）が18歳以上の場合】

あなた本人の状況をお答えください。

【^{ちやう} ^さ ^{たい} ^{しやう} ^{かた} ^{さい} ^み ^{まん} ^{ばあ} ^い

あなた（調査の対象となる方）が18歳未満の場合】

あなたの世帯主の状況をお答えください。

① ^{せい} ^{かつ} ^ほ ^ご 生活保護	1 ^{じゅ} ^{きゅう} 受給している 2 ^{じゅ} ^{きゅう} 受給していない
② ^{じゅう} ^{みん} ^{ぜい} 住民税	1 ^か ^{ぜい} 課税されている 2 ^か ^{ぜい} 課税されていない
③ ^{しょ} ^{とく} ^{ぜい} 所得税	1 ^か ^{ぜい} 課税されている 2 ^か ^{ぜい} 課税されていない

問 2 5 あなた（調査の対象となる方）の障害や心身の不調による生活のしづらさを日常的に支えている（介護、療育、医療的ケア、意思疎通の支援等）主な支援者は誰ですか。最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 家族・親戚 ⇒補問（1）もお答えください
- 2 知人、友人（近所の人や職場の同僚等を含む）
- 3 福祉サービス事業所や福祉施設の職員
- 4 学校、幼稚園、保育園の先生
- 5 障害者団体、患者会、家族会
- 6 有償ボランティア
- 7 その他（ ）
- 8 日常的に支えている支援者は特にいない

【1 家族・親戚と答えた方】

補問（1） 家族・親戚の詳細について、最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 親
- イ 配偶者
- ウ 兄弟姉妹
- エ 子
- オ その他（従兄弟、孫など）

【日常的に利用している用具等に関する質問です。】

問26 身体の機能を補うための用具のうち、日常的に利用するものについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※公的に支給されたもの、自費で購入したもの、両方を含みます。

- 1 利用している ⇒補問（1）もお答えください
- 2 利用していない ⇒補問（2）もお答えください

【1 利用していると答えた方】

補問（1）利用している用具の詳細について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ア 補聴器
- イ 人工内耳
- ウ 重度障害者用意思伝達装置
- エ 白杖
- オ 遮光眼鏡・弱視用眼鏡
- カ 義肢（義手・義足）・装具
- キ 歩行器・歩行補助つえ
- ク 車いす・電動車いす・姿勢保持装置
- ケ その他（ ）

【2 利用していないと答えた方】

補問（2）理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 利用する必要がないため
- イ 利用したいが、助成制度の対象ではないため
- ウ 利用したいが、希望する機能が得られないため
- エ その他（ ）

問 2 7 他人との意思疎通を支援するための手段・機器・サービス等のうち、日常的に利用するものについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。
 ※公的に支給されたもの、自費で購入したもの、両方を含みます。

- 1 利用している ⇒補問（1）もお答えください
 2 利用していない ⇒補問（2）もお答えください

【1 利用していると答えた方】

補問（1）利用している手段・機器・サービス等の詳細について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

見えづらさがある方向け	ア 点字・点字タイプライター・点字ディスプレイ・点字盤
	イ 指點字
	ウ 触手話
	エ 読み上げ機能付き機器
	オ 拡大読書器
聞こえない・聞こえにくい方向け	カ その他（ ）
	キ 手話・手話通訳
	ク 筆談・要約筆記
	ケ 読話・口話
	コ 電話リレーサービス
	サ 補聴援助システム（ヒヤリンググループ、会議用拡聴器、Mリンク）
	シ 音声認識ソフト
伝えづらさがある方向け	ス その他（ ）
	セ 筆談器
	ソ 人工喉頭
	タ コミュニケーションボード（絵・カード等）
	チ その他（ ）

【2 利用していないと答えた方】

補問（2）理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 必要がないため
 イ 利用したいが、助成制度の対象ではないため
 ウ 利用したいが、サービス事業所・提供者がなく、利用できないため
 エ その他（ ）

問 28 あなた（調査の対 象となる方）は、日常的にどのような方法により情 報を
入 手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 テレビ（一般放送）
もじほうそう
- 2 文字放送
しゅわほうそう
- 3 手話放送
- 4 ラジオ
- 5 インターネット（パソコン・タブレット端末・スマートフォンによる文字メ
ッセージ通信・ウェブサイト閲覧・ネット動画視聴等）
たんまつ もじ
どうがしちやうなど
つうしん えつらん
- 6 電話通話（携帯電話・スマートフォン・固定電話での通話）
でんわつうわ けいたいでんわ こていでんわ つうわ
- 7 一般図書・新聞・雑誌等の印刷物
いっぽんとしよ しんぶん ざっしなど いんさつぶつ
- 8 録音図書・デージー
ろくおんとしよ
- 9 点字図書・点字資料
てんじとしよ てんじしりやう
- 10 家族・友人・介助者
かぞく ゆうじん かいじょしや
- 11 その他の方法により情報を入手している（
た ほうほう じやうほう にゆうしゆ
- 12 情報を入手していない
じやうほう にゆうしゆ

【福祉サービスに関する質問です。】

問 2 9 介護保険の要介護・要支援の認定を受けていますか。あてはまるもの1つに
○をつけてください。

- 1 要介護の認定を受けている ⇒ 補問（1）もお答えください
- 2 要支援の認定を受けている ⇒ 補問（2）もお答えください
- 3 要介護または要支援の認定を受けていない（40歳未満の方を含む）

【1 要介護の認定を受けていると答えた方】

補問（1）要介護度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 要介護5（介護を必要とする度合いが最も高い）
- イ 要介護4
- ウ 要介護3
- エ 要介護2
- オ 要介護1

【2 要支援の認定を受けていると答えた方】

補問（2）要支援度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 要支援2
- イ 要支援1

問 30 障害福祉サービスの利用状況について、あてはまるもの1つに○をつけてく

ださい。

※「障害福祉サービス」とは、障害者総合支援法に基づき提供される障害者・障害児向けの福祉サービス、及び児童福祉法に基づき提供される障害児向けの福祉サービスを指します。

※「障害支援区分」とは、障害福祉サービスの支給の決定において活用される、必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す指標であり、障害者手帳の「等級」とは異なります。

- 1 障害福祉サービスを利用しており、障害支援区分の認定を受けている
⇒補問（1）と（2）もお答えください
- 2 障害福祉サービスを利用しているが、障害支援区分の認定は受けていない、または、障害児向けの福祉サービスを利用している
⇒補問（2）もお答えください
- 3 障害福祉サービスを利用しているが、障害支援区分の認定状況はわからない
⇒補問（2）もお答えください
- 4 障害福祉サービスを利用していない
⇒補問（3）もお答えください

【1 障害福祉サービスを利用しており、障害支援区分の認定を受けていると答えた方】

補問（1）あなたの障害支援区分について、あてはまるもの1つに○をつけて
ください。

※お持ちの障害福祉サービス受給者証や障害支援区分認定証明書に記載されている障害支援区分の内容を転記してください。

- ア 区分6（支援を必要とする度合いが最も高い）
- イ 区分5
- ウ 区分4
- エ 区分3
- オ 区分2
- カ 区分1

【障害福祉サービスを利用している方（１、２又は３と答えた方）】

補問（２）利用している障害福祉サービスの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

※お持ちの障害福祉サービス受給者証に記載されているサービス種別の内容を転記してください。

訪問系支援	ア 居宅介護（ホームヘルプ） イ 重度訪問介護 ウ 居宅訪問型児童発達支援 エ 保育所等訪問支援 オ 重度障害者等包括支援
通所系支援	カ 放課後等デイサービス キ 児童発達支援 ク 生活介護
入所系支援	ケ 短期入所（ショートステイ） コ 療養介護 サ 施設入所支援 シ 障害児入所支援
外出支援	ス 同行援護 セ 行動援護 ソ 移動支援
訓練・就労支援	タ 就労選択支援 チ 就労継続支援（Ａ型） ツ 就労継続支援（Ｂ型） テ 就労移行支援 ト 就労定着支援 ナ 自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練）
居住支援	ニ グループホーム
相談支援	ヌ 計画相談支援 ネ 障害児相談支援 ノ 自立生活援助 ハ 地域移行支援 ヒ 地域定着支援
医療費支援	フ 自立支援医療（育成医療、更生医療、精神通院医療） ヘ 重症心身障害者医療費助成制度

（次のページに続く）

ふくしょうぐ 福祉用具	ホ 補装具 マ 日常生活用具
その他	ミ 意思疎通支援 ム 成年後見制度 メ 地域活動支援センター モ その他（ ）

【4 障害福祉サービスを利用していないと答えた方】

補問（3）障害福祉サービスの利用の希望について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 希望していない（利用の必要がない場合を含む）
- イ 希望しているが、利用の基準にあてはまらず利用できない
- ウ 希望しているが、利用の手続きが分からず利用できない
- エ 希望しているが、サービス事業所・提供者がなく、利用できない
- オ その他（ ）

問 3 1 あなた（調査の対象となる方）が、特に必要と感じている支援はどのようなことですか。下記の 1 から 35 までのうち、主なものを 7 つまで○をつけてください。

医療・リハビリ	1 身近な医療機関に通院して医療を受けること 2 在宅で訪問診療・訪問看護を受けること 3 専門性の高い医療を受けること 4 医療費の負担軽減 5 障害の進行・二次障害を予防すること 6 リハビリ・自立訓練を受けること
教育・保育	7 障害の早期発見・早期療育のための支援の充実 8 保育園の充実 9 特別支援教育の充実 10 合理的な配慮（それぞれの特性や困り事に対する対応）のある学業の場の確保
就労	11 仕事に就くこと・続けることを容易にする制度の充実 12 合理的な配慮（それぞれの特性や困り事に対する対応）のある働く場や活動の場の確保
家族への支援	13 障害をもつ人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等） 14 支援指導、相談等
配慮・人権	15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実 16 障害をもつ人の権利や人権を守るための支援
社会参加	17 外出・移動の支援 18 スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助 19 地域の人々との交流機会の拡大 20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等） 21 障害に配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）
福祉サービス	22 入所サービスの利用 23 通所サービス（デイサービス等）の利用 24 訪問サービス（ホームヘルプ等）の利用 25 意思疎通支援サービスの利用
福祉用具	26 質の高い補装具の装用 27 日常生活用具を利用するための支援を受けること
住まい	28 障害をもつ人に適した住宅の確保 29 自宅の改修

（次のページに続く）

けいざいてきしえん 経済的支援	30	てあてねんきんじよせいきんなど 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実
さいがい 災害	31	さいがいじきんきゆうじじょうほうていきょう 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の じゅうじつ 充実
そうだん 相談	32	そうだんたいおうなど 相談対応等の充実
その他	33	おやなあとせいかつしえん 親亡き後の生活支援
	34	じよせつくさかりなど 除雪・草刈等の支援
	35	その他（ ）

問32 現在、収入を得る仕事をしていますか。また、今後、収入を得る仕事につくことについてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※収入を得る仕事とは正職員、正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、日雇い等）、就労継続支援A型での雇用、自営業（家の仕事の手伝いを含む）を指します。

- 1 現在、収入を得る仕事をしている ⇒補問（1）もお答えください
- 2 現在、収入を得る仕事をしていない（就学中の場合を除く） ⇒補問（2）もお答えください
- 3 現在就学中であり、収入を得る仕事をしていない ⇒補問（3）もお答えください

【1 現在、収入を得る仕事をしていると答えた方】

補問（1）仕事の継続の希望について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 現在の仕事を継続したい
- イ 現在の仕事以外の収入を得る仕事を継続したい
- ウ 仕事を継続したくない

【2 現在、収入を得る仕事をしていないと答えた方】

補問（2）今後の希望について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 今後、収入を得る仕事をしたい ⇒補問（A）もお答えください
- イ 今後、収入を得る仕事をしたくない ⇒補問（C）もお答えください
- ウ 今後のことはわからない

【3 現在就学中であり、収入を得る仕事をしていないと答えた方】

補問（3）今後の希望について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ア 卒業後、収入を得る仕事をしたい
- イ 卒業後、収入を得る仕事をしたくない ⇒補問（C）もお答えください
- ウ 今後のことはわからない

【補問（２）で、ア 今後、収入を得る仕事をしたいと答えた方】

補問（Ａ）どのような雇用形態等を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ア 正職員 ⇒補問（Ｂ）もお答えください

イ 正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、日雇い等）⇒補問（Ｂ）もお答えください

ウ 自営業（家の仕事の手伝いを含む）

エ 就労継続支援Ａ型

【補問（Ａ）で、ア 正職員 又はイ 正職員以外と答えた方】

補問（Ｂ）障害者向け求人に応募したいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

ア 障害者向け求人に応募したい

イ 障害者向け求人に応募したくない

【補問（２）又は（３）で、イ 収入を得る仕事をしたくないと答えた方】

補問（Ｃ）理由について、あてはまるもの１つに○をつけてください。

ア 体力の面で不安がある

イ 人間関係で不安がある

ウ やりたい仕事がない

エ 他にやりたいことがある

オ その他（ ）

問 3 3 あなた（調査の対象となる方）が継続的に収入を得る仕事をするために必要と感じていることは何ですか。最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

※就学中的の方の場合、将来仕事につく上で必要と感じることを記載してください。

- 1 通勤の手段の確保（通勤に福祉サービスを使えること等）
- 2 職場の環境整備（バリアフリー化を含む）
- 3 柔軟な勤務体制（体調に合わせて勤務時間を変更できること等）
- 4 在宅勤務
- 5 職場に障害に対する理解があること
- 6 必要な時に通院できること
- 7 就労後の支援機関による支援（相談対応、支援等）
- 8 その他（ ）
- 9 特に必要なことはない

【その他の質問です。】

問34 あなた（調査の対象となる方）が医療（通院、在宅医療、定期入院等）を受ける頻度は、平均するとどれくらいになりますか。①と②の設問それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 在宅医療に往診は含みますが、訪問看護、訪問介護には往診は含みません。

①あなたの生活のしづらさの 直接の原因となっている 障害、病気、けが等のための 通院や在宅医療（往診）	1 毎日 2 2～3日に1回程度 3 1週に1回程度 4 2週に1回程度 5 1ヶ月に1回程度 6 2～3ヶ月に1回程度 7 半年に1回程度 8 1年に1回程度 9 医療機関にかかっていない
②あなたの生活のしづらさとは 直接関連のない通院等	1 毎日 2 2～3日に1回程度 3 1週に1回程度 4 2週に1回程度 5 1ヶ月に1回程度 6 2～3ヶ月に1回程度 7 半年に1回程度 8 1年に1回程度 9 医療機関にかかっていない

問 3 5 1ヶ月当たりの医療費の自己負担分は、平均するとどれくらいになります

か。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※公的医療費助成や、高額療養費を受けた後に必要となる自己負担分について回答してください。

※かぜ等の突発的な事由により一時的に必要な医療費は除きます。

※あなたの生活のしづらさの直接の原因となっている障害、病気、けが等のための医療、あなたの生活のしづらさとは直接関連のない医療を両方含めた金額を回答してください。

※定期的に入院している場合は、それも含みます。

ひとつきあ 一ヶ月当たりの医療費の自己負担分	やく 約	まんえん 万円
---------------------------	---------	------------

問36 あなた（調査の対象となる方）が感じている生活のしづらさ、困っていること等がありましたら、その原因となる背景を含めて、ご自由にご記入ください。

とい ちょうさ ほうほう ないよう かいぜん いけん ようぼう
問 3 7 この調査の方法や内容についての改善について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。
とく いけん ようぼう ばあい きさい ふよう
※特にご意見やご要望がない場合、記載は不要です。

ちょうさ ほうほう
①調査の方法について

ちょうさ ないよう
②調査の内容について

しつもん いじょう きょうりよく
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。